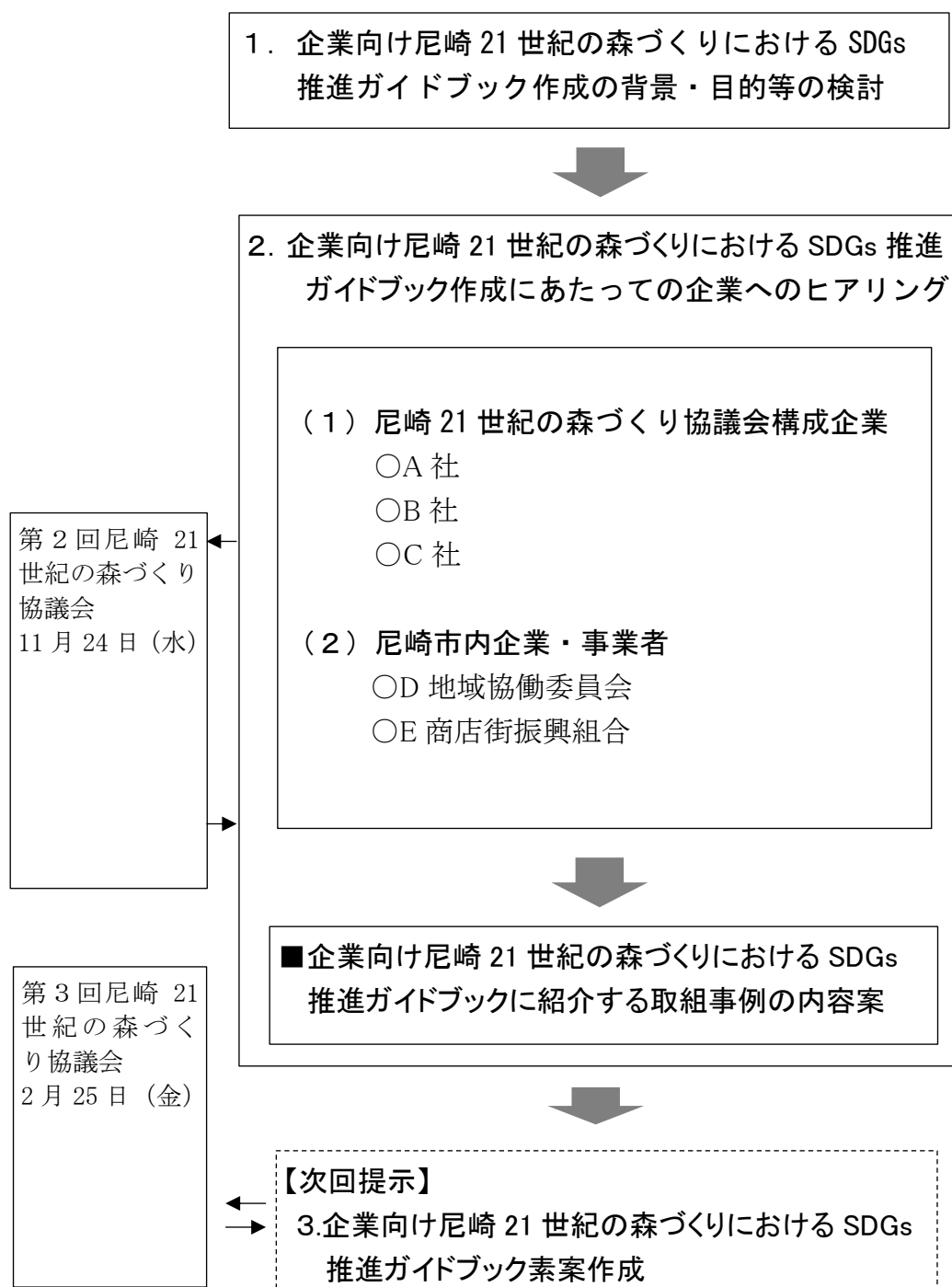


企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブックについて

■検討・作成に向けた流れ



1. 企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブック作成の背景・目的等の検討

【背景・目的】

「尼崎 21 世紀の森構想」の理念を具体化するための「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」では、4つの取組方針の1つに『既存産業の育成・高度化と新産業の創造(産業)』が掲げられており、企業参画による取組の推進が求められている。

これまで、尼崎の森中央緑地のイベントに森構想エリア内の企業PRブースを設置するなどの取り組みを行ってきた。

今後、さらに尼崎 21 世紀の森構想を推進するため、「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」に関連性のある経済・環境・社会に対応した国際社会共通の目標である SDGs (Sustainable Development Goals :「持続可能な開発目標」)^{*}を活用することで、森構想エリア内外における企業の参画を広げていくものとする。

このため、企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブックを作成する。

※近年は、企業経営を環境・社会・ガバナンス(企業統治)の3つの視点から考えることが企業の持続可能性において重要であるとの認識から、投資の意思決定において、それらを重視する「ESG(Environment / 環境・Social / 社会・Governance / ガバナンス)投資」が広がりつつある。

【適用対象】

企業(特に、構想エリア内の企業)

※今後、NPO等の団体や個人も対象としたものを作成予定

【構成・内容】

次頁参照

【運用方法】

企業のSDGs担当者等が見て、取組みを考える際の参考とする。

■企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブック構成案

(1) タイトル案

尼崎 21 世紀の森づくり SDGs 推進ガイドブック

尼崎 21 世紀の森づくりで SDGs に取組もう！

(2) ページ構成案 (表裏表紙含まず)

①主旨

尼崎 21 世紀の森づくりで SDGs に取組もう！

- ・ガイドブック作成の主旨
- ・ガイドブックの使い方

p.1

②森構想、尼崎 21 世紀の森づくりで SDGs に取組める場所の紹介

尼崎 21 世紀の森づくりって？

- ・森構想、行動計画の紹介

「4つの取組みは、SDGsにもつながっているので、森づくりに取組むとSDGsにもなります」といった簡単な説明

p.2

③目標に対する取組み内容

尼崎 21 世紀の森構想エリアと主な施設

構想エリアマップ

主な施設紹介
(尼崎の森中央緑地、キャナルベース、尼崎運河など)

目標に対する尼崎 21 世紀の森づくりの取組み内容

目標	尼崎 21 世紀の森づくり例
SDG 1	各目標に対する 尼崎 21 世紀の森づく りで考えられる取組み 例の一覧
SDG 2	
SDG 3	
SDG 4	
	※具体事例は「事例紹介ページ」で紹介

p.3

p.4

④SDGs 取組み事例一覧 (事例シート目次)

尼崎 21 世紀の森づくりでの SDGs 取組み事例

目標	事例名称	ページ
SDG 1		
SDG 2		
SDG 3		
SDG 4		
事例シートの一覧表		
・事例名称		
・事例シートのページ番号		

p.5

p.6

⑤事例シート

事例名称〇〇〇〇〇〇

SDGs の目標に対するねらい

取組み内容 (実施例・提案例)

取組み紹介文

担当者の声など

写真等

p.9

事例名称〇〇〇〇〇〇

SDGs の目標に対するねらい

取組み内容 (実施例・提案例)

取組み紹介文

担当者の声など

写真等

p.10

- ・事例シートでは、協議会企業委員の取組みや、すき間緑化など森構想エリアの中小企業の取組みを紹介する。
- ・紹介した SDGs の取組みに関する顕彰制度等を検討する。(例えば、「尼崎 21 世紀の森づくり SDGs アワード」)

付録：尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs の効果測定方法の紹介

森の SDGs シートで効果測定！

簡単!! 5分以内

感じた気持ちを O、△、× で記入するだけ

目標	該当する回答項目
SDG 1	各目標に対する 森の SDGs シートの 回答項目
SDG 2	
SDG 3	

測定事例

- ・かやばー

グラフ

2. 企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブック作成にあたっての企業へのヒアリング

ヒアリングについては、尼崎 21 世紀の森づくり協議会構成企業における SDGs 取組と、協議会委員以外の市内企業による SDGs の取組について以下のとおりにヒアリングを行った。

日時	ヒアリング対象
8 月 19 日	A 社
8 月 23 日	B 社
8 月 25 日	C 社
10 月 14 日	D 地域協働委員会
10 月 22 日	E 商店街振興組合

◆ヒアリング項目

- ・ SDGs の取組の背景と考え方
- ・ 現状の取組
- ・ 今後の展開
- ・ 尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて協力可能なもの

(1) 尼崎 21 世紀の森づくり協議会構成企業へのヒアリング結果 (A, B, C の主な意見)

1) 今後の SDGs の取組

- ・ 継続的に SDGs に取り組みたいと考えており、今後、本業をベースとしたサステイナブル（持続可能性）な取組について検討を始めている。

2) 尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて

- ・ 尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進には、臨海地域の中小企業の実践を広げることが必要であると考えている
- ・ その視点として、無理をせず、負担にならず、楽しい取り組みにすべきとの意見であった。

3) そのためには何が必要か？ガイドブックで何に貢献できるか？

- ・ ガイドブックには企業が簡単にできそうな SDGs の取組や事例を紹介する。
- ・ 中小企業への展開については、中央緑地などの構想エリアを利用することで SDGs に貢献することをガイドブックでアピールする。（例：行動計画で提示した企業運動会など）

(2) 尼崎市内企業・事業者 (D, E の主な意見)

1) 今後の SDGs の取組

- ・ 尼崎産の魚を子ども食堂に提供することで尼崎の資源の価値を PR する尼崎青年会議所の取組や、高齢者や子育て世代また、観光客が安心して買い物ができるよう、E 商店街振興組合の自転車を押して買い物するためのイベント『押しチャリンピック』やウォーターサーバーの設置の取組は SDGs としても継続したいと考えている。
- ・ これらの取組の背景については、商売している地域を良くすることで本業に活かされると考えている。



商店街に多くの人を呼びこみかつ、安全に商店街を通行する「押しチャリンピック」の開催



商店街利用者や尼崎の観光客のために無料のウォーターサーバーを設置

2) 尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて

- ・ D 地域協働委員会が行っている子ども食堂と子ども食堂をつなげる取組や、E 商店街による大学生とのコラボレーションによる商店街の活性化の取組のように、地域の人と人をつなぐことや、地域外の人とつながりをもつことで新しい取組が展開できると考えている。



尼崎産の魚の提供を増やし、市内の子ども食堂のネットワークを広げる予定



高齢者、子育て世代に商店街に来てもらうための休憩スペースの提供(大学生との協働企画)

3) そのためには何が必要か？ガイドブックで何に貢献できるか？

- ・ いろいろな人とアイデアを出し合い楽しい取組をしないと SDGs は継続できない。
- ・ 構想エリアでの連携イベントの実施

■企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブックに紹介する取組み案

企業へのヒアリングの結果を踏まえ、企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブックに紹介する取組み案については、以下について紹介する。

取組項目	ねらい・取組み案	イメージ	
提案例	<p>1) 森構想エリア内の施設を利用して商売・仕事をしている地域を盛り上げる</p>	<p><ねらい・取組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎中央緑地を利用して地域の商店街のイベントを実施・PRすることで、森構想エリア周辺のまちづくりや地域の活性化に役立てる <p><企業・事業者のメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や子育て世代また、観光客が安心して商店街を買い物ができる商店街の環境づくりが期待される 	  <p>芝生広場で買い物イベントを実施</p>
実施例	<p>2) 企業と構想エリア内外の人・団体等をつなぐ</p>	<p><ねらい・取組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釣り公園を尼崎産の魚が採れる拠点とし、採れた魚を市内各地の子ども食堂に提供し、構想エリアから子育てや福祉に貢献する <p><企業・事業者のメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎産の魚を PR や販売などの増加が期待される 	  <p>尼崎産の魚を子ども食堂に提供</p>
提案例	<p>3) 尼崎 21 世紀の森構想エリアでできる SDGs の取組をPRする</p>	<p><ねらい・取組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業向け尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs 推進ガイドブック等を社内等に設置してもらうことで、森構想への企業参画のきっかけを広げる。 <p><企業・事業者のメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森構想の目標や、国際社会共通の SDGs の目標を共有することで、企業のイメージアップや企業同士のネットワークの構築が期待される 	  <p>パンフレットをオフィスに設置</p>

■今後、尼崎の 21 世紀の森づくりにおける SDGs の取組に対する顕彰制度の創設、情報発信、パートナーシップの構築などのしくみづくりについて検討する。

◆参考◆

尼崎 21 世紀の森づくりにおける SDGs の取組に関するヒアリングシート

A 社	8
B 社	10
C 社	12
D 地域協働委員会	14
E 商店街振興組合	16

※SDGs 企業登録事業（あまがさき SDGs パートナー：尼崎市）

F 協同組合	18
--------	----

尼崎 21 世紀の森における SDGs の取組に関するヒアリング結果シート 1

実施日	令和 3 年 8 月 19 日
会社名	A 社

SDGs の取組 の背景と考 え方	<p>○自然界にある原料を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1914 年に製造企業として創業 ・ガラスは、プラスチックのリサイクルとは異なり、びんの形態が変化しない水平的なリサイクルが可能。地球上にもともとあった素材であり、ガラス自体がエコなもの。 <p>○3R の取組で廃棄物をださずに利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいガラスびんの原料にするリサイクル、びんを洗って何度もくりかえし使用するリユース、ガラスびんの軽量化によって原料・エネルギーの削減をはかるリデュースの取り組み <p>○関連団体と一体となった 3R の取組（日本ガラスびん協会、全国びん商連合会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びん商とよばれる業態では、昔から瓶を洗浄して再利用した。（但し、リサイクル率に換算されない。）
現状の取組	<p>○尼崎 21 世紀の森づくりに関連する SDGs の取組 （2009 年より尼崎 21 世紀の森づくりへ参画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の森中央緑地におけるエリア設定型の森づくり ・エコキッズメッセにおける環境学習ブースの出席 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対する育児休暇、テレワーク、時差出勤などの取組 ・本社敷地内の植物工場野菜（きらきらベジ）の生産及び販売
今後の展開	<p>○本業をベースとしたサステナブル（持続可能性）な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業 107 年ということでサステナブルな事業を行ってきたことから、総合的な視点で SDGs の取組みの推進を検討中。 ・2030 年に向けた目標の設定の必要性について検討中。

<p>尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が取り組む SDGs は身の丈にあったものでいいと思う。サステナビリティ (持続可能性) を考えると、無理をしてやらなくてもよい。尼崎に 21 世紀の森づくり独自の SDGs の視点につながるのではないかと考える。 	
<p>協 力 可 能 な も の</p>	<p>尼崎 21 世紀の森づくりの広報・PR 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対して PR できるよう職場にパンフなどを設置することは可能
<p>(仮称) 尼崎 21 世紀の森 SDGs パートナー (創設予定) への登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HP のリンクや登録企業との情報交換などの機会や場所を希望 	
<p>尼崎臨海地域での活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既に活動は実施済み ※活動については、尼崎 21 世紀の森 SDGs ガイドブックに紹介できるように関連する資料を提供予定 	

尼崎 21 世紀の森における SDGs の取組に関するヒアリング結果シート 2

実施日	令和 3 年 8 月 23 日
会社名	B 社

SDGs の取組の背景と考え方	<p>○1921 年創業。「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展を第一義に考えた事業活動を展開（B 社ホームページより）</p> <p>○これまで活動の充実に力を注いできたコンサルティング機能の発揮、地域貢献活動、環境保全活動をさらに発展させ、地域やお取引先の皆さまと手を携え、『地域の課題解決モデルを発信する』（B 社ホームページより）</p>
現状の取組	<p>○尼崎 21 世紀の森づくりに関連する SDGs の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の森中央緑地における森づくりへの参画 ・尼崎の森中央緑地のイベントにおける環境学習ブースの出展 ・アマフォレストの会と連携した森づくり研修会や植樹祭イベントの実施 <p>○各店舗で行われる地域貢献の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美化清掃活動 ・子ども見守り隊など <p>○会館における地域の発展と地域文化向上のための企画展示</p> <p>○本店の食堂のヴィーガンメニュー</p>
今後の展開	<p>○本業である地域貢献の取組の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決への取組を各店舗から地域に広げる。 <p>○地元企業とのパートナーシップの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引企業とともに地域の課題解決の取組を進める方策について検討中。 <p>○県・市、大学・研究機関、活動団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会」や「環境」の視点からの SDGs の取組は、専門外のため、尼崎 21 世紀の森づくり協議会など行政や大学、市民活動団体と連携し、推進の拡大を検討中。 <p>○SDGs の取組の見える化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs に関連する表彰制度の創設の可能性を検討中 <p>○企業等を対象とした SDGs 勉強会・セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業同士のつながりを広げていきたい。

<p>尼崎21世紀の森におけるSDGsの推進に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が取り組むSDGsを継続していくためには、取組が負担とならないように楽しく取り組むことが必要。 ・本業でSDGsの取組を進めることが必要。 ・緑化は難しいがSDGsは広がる
<p>協力可能なもの</p>	<p>尼崎21世紀の森づくりの広報・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対してPRできるよう職場にパンフなどを設置することや、エリアを限定してパンフなどの設置を検討することは可能
<p>(仮称) 尼崎21世紀の森SDGsパートナー(創設予定)への登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのリンクは可能 ・登録企業等に対してSDGsに関連した地域貢献の取組に関する勉強会やセミナーを開催する機会や場所を希望
<p>尼崎臨海地域での活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既に活動は実施済み <p>※活動については、尼崎21世紀の森SDGsガイドブックに紹介できるようにホームページのデータを活用</p>

尼崎 21世紀の森における SDGs の取組に関するヒアリング結果シート 3

実施日	令和 3 年 8 月 25 日
会社名	C 社

SDGs の取組 の背景と考 え方	<p>○事業自体が SDGs の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民のアクセスの向上や二酸化炭素排出量の削減に寄与している。 <p>○社会貢献活動を 2009 年より推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たち一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指すもの。
現状の取組	<p>○C 株式会社の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性応援プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◇ウェブサイト「Cheer*full Cafe」での子育て世代向けの公園ガイド等の情報発信 ◇300 名の女性が登録する「チアフルサポーター」による情報の発信やおでかけ企画、交流イベントでの仲間づくりの実施など ・大学と共同で開催する「健康講座」 <ul style="list-style-type: none"> ◇これまで 20 回開催し参加者は 1500 名 <p>○グループの社会貢献活動プロジェクトの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金の創設による緑化団体などへの助成 ・従業員・OB の所属するボランティア団体への支援金 ・グループ会社 100 社での協働 <p>○グループ共通のテーマに合う社会貢献活動を各社が実施（年間合計約 100 件）</p> <p>○SDGs の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の取組ごとに目標を設定することはしていない。現段階では外部要請（ESG）の項目で目標を設定している。
今後の展開	<p>○臨海地域での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎 21 世紀の森づくり協議会で協議した内容等を踏まえ、臨海地域での活動実施について検討する。

<p>尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業そのもので SDGs の達成に貢献していくことができると考える。C 社における SDGs も事業での取組を踏まえて実施している。 	
<p>協力可能なもの</p>	<p>尼崎 21 世紀の森づくりの広報・PR 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広告については、県・市と調整することで対応は可能である。 ・あまがさきモリンピックのように臨海地域で実施されるイベントでグッズなどの提供は可能である。
	<p>(仮称) 尼崎 21 世紀の森 SDGs パートナー (創設予定) への登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HP のリンクやパートナーへの登録については、可能であるが、目的・趣旨が明確になった段階で検討する。
	<p>尼崎臨海地域での活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎 21 世紀の森づくり協議会で協議した内容等を踏まえ、臨海地域での活動実施について検討する。

尼崎 21世紀の森における SDGs の取組に関するヒアリング結果シート 4

実施日	令和3年10月14日
事業者名	D 地域協働委員会

SDGs の取組の背景と考え方	○尼崎産の魚をより多くの人に知って欲しいという思いと、尼崎産の魚を使って地域の課題解決に結びつけたいと考えたため。
現状の取組	<p>○『J 食堂』～尼崎産を届ける～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海釣り公園の利用者が釣った魚を、無償で子ども食堂に提供する取組 ・当初は、フィッシュシェアリングという考えのもと、尼崎市立魚釣り公園で釣られた魚を無駄にしないよう、海釣り公園利用者に魚を提供していた。 ・その後、D 地域協働委員会が調整役となり、子ども食堂への提供を行った。 <p>○10月31日に尼崎魚釣り公園で尼崎産の魚の PR イベントを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎産の魚を使ったフィッシュバーガーを制作し、イベント参加者や子ども食堂に提供予定
今後の展開	○市内各地の子ども食堂へ、尼崎産の魚の提供を広げる。

<p>尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂と子ども食堂をつなげる取組や、商店街の大学生とコラボレーションによる商店街の活性の取組のように、地域の人と人をつなぐことや、地域外の人とつながりをもつことで新しい取組が展開できると考えている。 	
<p>協 力 可 能 な も の</p>	<p>尼崎 21 世紀の森づくりの広報・PR 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 森の自由研究フェスなどの臨海地域で実施されるイベントでの出展は可能である。
	<p>(仮称) 尼崎 21 世紀の森 SDGs パートナー (創設予定) への登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的・趣旨が明確になった段階で検討する。
	<p>尼崎臨海地域での活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き尼崎市立魚釣り公園を中心に活動を継続する予定。

尼崎 21世紀の森における SDGs の取組に関するヒアリング結果シート 5

実施日	令和 3 年 10 月 22 日
会社名	E 商店街振興組合

SDGs の取組の背景と考え方	○5 年前、マスコミに E 商店街利用者の自転車マナーの悪さを報道されたことから、安全で楽しく買い物ができる商店街の取組として始めた。
現状の取組	<p>多くの高齢者や子育て世代の親子が安心して商店街を利用できるように主に以下の取組を行っている。</p> <p>○『押すチャリンピック』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街に訪れるための交通手段として、自転車を推奨するが、商店街で買い物をする際は、自転車から降り、押して買い物をすることを PR するイベント <p>○商店街にウォーターサーバーを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子ども、また観光客を対象に、500mある商店街を休憩しながらゆったりと買い物ができるように設置した。 <p>○学生とのコラボレーションによる DIY 休憩スペースの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 年前、商店街の未来会議を立ち上げ、メンバーに大学生等も加入し、定期的に、商店街の活性化に向けた企画を検討している。DIY 休憩スペースはその会議での企画で、休憩スペースに設置するベンチ・椅子、テーブルなどを学生と一緒に製作した。
今後の展開	・昭和 48 年に E 商店街振興組合が設立されもうすぐ 50 年になるが 100 年を見据えて、取組を継続していきたいと考えている。

<p>尼崎 21 世紀の森における SDGs の推進に向けて</p>	<p>大学生とのコラボレーションによる商店街の活性化の取組のように、地域外の人とつながりをもつことで新しい取組が展開できると考えている。</p>
<p>協 力 可 能 な も の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="220 309 475 452"> <p>尼崎 21 世紀の森づくりの広報・PR 活動</p> <li data-bbox="220 452 475 694"> <p>(仮称) 尼崎 21 世紀の森 SDGs パートナー (創設予定) への登録</p> <li data-bbox="220 694 475 788"> <p>尼崎臨海地域での活動</p>

※SDGs 企業登録事業（あまがさき SDGs パートナー：尼崎市）

尼崎市は令和 2 年度より、市内の SDGs 達成に向けた取組を推進するため、SDGs 達成に資する取組を行う企業や団体を、「あまがさき SDGs パートナー」として登録している。

■メリット

1. SDGs 達成に資する取組を行う企業や団体として、市が対外的な広報・PR を行う。
(市 HP 等への掲載、登録書・ステッカーの交付、ロゴマークの使用許可)
2. 市制度の上乗せ支援（中小企業登録者のみ対象）

制度	上乗せ内容
信用保証料補助	SDGs 推進に資する県融資制度等の借り入れに対する保証料補助補助率:1/3(上限 20 万円)
新技術・新製品創出支援事業	新技術・新製品における研究開発に係る助成補助率:2/3(上限 200 万円)※現行 補助率:1/2(上限 150 万円)

あまがさき SDGs パートナー登録企業	F 協同組合
----------------------	--------

取組状況	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んでいる <input type="checkbox"/> 今後取り組む予定	
取組内容	経済	関連するゴール：6, 7, 8, 9, 14 ①ものづくり産業 ものづくり企業が集積した産業団地を形成。 ②共同化・協業化 協同組合として、工場の集団化による高度化を推進。 ③共同受電・共同排水 共同施設の配置による安全・安心な操業環境を整え良質な製品を提供。 ④組合員間受注 協同組合の特色を活かし、各組合員が技術を共有。
	社会	関連するゴール：8, 10, 11 ①外国人研修生の受入 技術・技能を伝播し、グローバルな「人的交流」に協力。 ②インターンシップ事業 社会とのコミュニケーション力を育む職場体験等の場を提供。 ③交流の場を提供 団地内のスペースをイベント等開催の場として提供。
	経済	関連するゴール：7, 11, 13, 15 ①太陽光発電 太陽光発電の設置により、再生可能なエネルギーを創出。 ②養蜂事業 尼崎南部臨海部の“イメージアップ”に貢献。 ③緑化事業 県が提唱する『尼崎 21 世紀の森づくり』に基づき、「すき間緑化」を推進し、団地内に安らぎのある空間を創造。 ④グラスパーキング ヒートアイランド現象の緩和を推進。